

小学校特別活動		中学校特別活動		高等学校特別活動	
特別活動の充実は、よりよい学級・学校生活に向け、自分たちの生活上の課題に気づき、創意工夫して自ら解決する力を育むことにつながります。					
重点 1	合意形成する話し合い活動を通して取り組む学級活動（1）を充実	重点 1	合意形成する話し合い活動を通して取り組む学級活動（1）を確保	重点 1	自治的能力や主権者として積極的に社会参画するための力の育成を見通し、生徒の自発的・自治的活動を実現
○ 「よりよい学級、学校生活を自分たちの力でつくりあげるために、現状の問題を発見し、その解決のために話し合い、みんなで実践する」ことを重視しましょう。 ○ 学級活動（1）の指導を充実させることで全校という大きな集団になったときにも経験を生かして、児童会活動等に見通しを持って取り組むことができます。 ☐ 児童の思いを実現し、豊かな学級・学校生活をつくる活動を充実させるために、話し合い活動を積み重ねている。 【ポイント】 ○ 学級における課題を児童と共に見つけ、児童が合意形成し、実践する経験ができるように、話し合い活動に取り組みましょう。 ○ 話し合って決めた内容を事後に実践しましょう。 ○ 実践を振り返り、次の活動への見通しがもてるようにしましょう。 ☐ 児童の自発的・自治的な活動が展開されるように以下のポイントに留意して、学級活動（1）を実施している。 【ポイント】 ○ 事前の活動、本時の活動、事後の活動を充実させることが大切です。 ※学級活動（1）の学習過程の（例） →  ○ 事後の活動では本時の活動で合意形成したことを実践する機会を確実に確保するとともに、実践を通して感じたこと、考えたことを振り返るようにしましょう。		○ 「生徒一人一人が、学級や学校の課題を自分事として捉え、自分は学級や学校の生活をよりよくするために何ができるかということを考え、意思をもって実践する」ことを重視しましょう。 ○ 学級活動（1）の時間を確保するためにも（2）（3）の内容を整理した年間指導計画を作成し、小学校までの積み重ねを生かして、定期的に学級活動（1）＝いわゆる学級会活動を行いましょう。 ☐ 学級・学校における課題を生徒と共に見つけ、生徒が合意形成し、実践する経験ができるように、話し合い活動に取り組んでいる。 【ポイント】 ○ 生徒が主体的に取り組める切実感のある議題を設定しましょう。そのために、日ごろから生徒の様子を観察し、生徒の課題と感じていることなどを把握しましょう。 ○ 話し合う内容や方法を示したり、事前に考えをもつなど、意見を発表しやすくしたりするようにしましょう。 ☐ 生徒の自発的・自治的な活動が展開されるように以下のポイントに留意して、学級活動（1）を定期的の実施している。 【ポイント】 ○ 事前の活動、本時の活動、事後の活動を充実させることが大切です。 ※学級活動（1）の学習過程の（例） → 		☐ 中学校までの積み重ねを生かして、ホームルーム活動における自発的・自治的な活動に取り組めるようにしている。 ☐ 生徒の自発的・自治的な活動を助長するために、生徒の主体的な活動場面をできるだけ多く取り入れ、合意形成のための話し合い活動に取り組めるようにしている。 ☐ 育成を目指す資質・能力の重点化を図っている。 ☐ ホームルーム活動、生徒会活動及び学校行事との内容相互の関連を図っている。	
重点 2	意思決定を行う学級活動（2）・学級活動（3）の充実	重点 2	意思決定を行う学級活動（2）・学級活動（3）の充実	重点 2	ホームルーム活動（3）「一人一人のキャリア形成と自己実現」の充実
☐ 事前・本時・事後の活動を計画的に実施し、一連の活動として充実させている。 ※学級活動（2）（3）の学習過程の（例） →  ☐ 一人一人が、「自己の成長を考えて、努力すること」や「なりたい自分に向けて、今すべき努力」について意思決定できるようにしている。 ☐ 話し合った内容を一人一人の意思決定に生かす工夫をしている。 ☐ 「キャリア・パスポート」に、日々の学びを取捨選択及び再編集しながら蓄積し、振り返る機会をつくっている。		☐ 事前・本時・事後の活動を計画的に実施し、一連の活動として充実させている。 ※学級活動（2）（3）の学習過程の（例） →  ☐ 委員会活動等の組織を生かして活動テーマを設定できるようにしている。 ☐ 話し合った内容を一人一人の意思決定に生かす工夫をしている。 ☐ キャリア教育の要として、特に学級活動（3）の時間を計画的に実施している。 ☐ 「キャリア・パスポート」に、日々の学びを取捨選択及び再編集しながら蓄積し、振り返り、将来の生き方を考える活動を行うようにしている。		☐ 現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返る活動を取り入れている。 ☐ 学校図書館を活用するなどして、自分にふさわしい学習方法や学習習慣を身に付ける指導を行っている。 ☐ 社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考える指導を行っている。 ☐ 主体的な進路選択や将来設計のために、自己の在り方・生き方や進路に関する情報を収集・整理し、自己の適性や興味・関心と照らして考えさせる指導を行っている。 ☐ 「キャリア・パスポート」に、キャリア教育に関わる学びを蓄積し、振り返り、将来の生き方を考える活動を行うようにしている。 ☐ 話し合った内容を、一人一人の意思決定に生かす工夫をしている。 ☐ 学びの記録を蓄積した「キャリア・パスポート」を自分の進路実現に生かせるようにしている。	

★特別活動における ICT の活用について
☐特別活動の指導に当たっては、その方法原理である「なすことによって学ぶ」直接体験が基本です。指導内容に応じて、一人一台端末などを適切に活用することによって、児童生徒の学習の質を高めることができます。 【学級活動・ホームルーム活動での活用例】 ・アンケート結果や資料の掲示に活用 ・生活上の問題を把握するために必要な情報収集に活用 ・意見の分類・整理に活用 ・児童生徒が実践を振り返って気づいたことや考えた記録の蓄積に活用  <参考> 教員の ICT 活用指導力の向上 特別活動ページ (文部科学省 HP へのリンク)

しまねの教育情報 Web EIOS			
小学校特別活動に係る情報		中学校特別活動に係る情報	高等学校特別活動に係る内容
 小学校特別活動ページ	  小学校特別活動映像資料	 中学校特別活動ページ	 高等学校特別活動ページ

小・中・高を通じて身に付けさせたい 資質・能力（目指す子どもの姿）
自主的、実践的な集団活動を通して、特別活動で育成する資質・能力を「人間関係形成」, 「社会参画」, 「自己実現」の視点で整理し、次の要素を育成する。 ◎集団活動を行う上で必要となる知識及び技能 ・集団活動の意義や価値を理解すること ・基本的な生活習慣や社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践できるようにすること ・将来の社会的・職業的な自立と現在の学習がどのように関わるかということを理解し、自分でできることを意思決定し、実践していくこと ◎集団や自己の生活、人間関係の課題解決の過程において必要となる思考力、判断力、表現力等 ・課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする ◎集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度
研修等について
○島根県キャリア教育研究大会 出雲会場 10月28日（火） 出雲第三中・北陽小 ○小学校特別活動講座（雲南市立木次小学校） 7月4日（金）講師：國學院大學 杉田 洋 ※受講対象・・・希望者・管理職セレクト研修対象 ○中学校特別活動講座（浜田教育センター） 8月25日（月）講師：東北福祉大学 長田 徹 ※受講対象・・・希望者・管理職セレクト研修対象 ○キャリア教育の要！特別活動講座 （オンライン研修）講師：筑波大学 京免徹雄 12月12日（金） ※受講対象・・・希望者・管理職セレクト研修対象

★小・中・高等学校の特別活動の評価について
☐「評価の観点」とその趣旨について、特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、各学校で設定することになっています。学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の例示を参考に、特別活動の「評価の観点」とその趣旨を各学校で設定しましょう。 ☐特別活動は、全校又は学年を単位として行う活動があり、学級担任・ホームルーム担任以外の教師が指導すること多いことから、各学校では評価体制を確立し共通理解を図って、児童生徒のよさや可能性を多面的、総合的に評価できるようにしましょう。また、各活動・学校行事ごとに、十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、指導要録に○を記入します。 ☐特別活動は、活動の積み重ねにより年間を通して児童生徒の資質・能力を図るものです。すべての評価の観点について、事前・本時・事後の一連の学習過程の中で評価できるようにしたり、各活動・学校行事における顕著な事項は補助簿を活用して記録したりしておき、一定期間に実施した活動や学校行事を評価規準に基づき、まとめて評価するなど、効果的で効率的な評価となるようにしましょう。